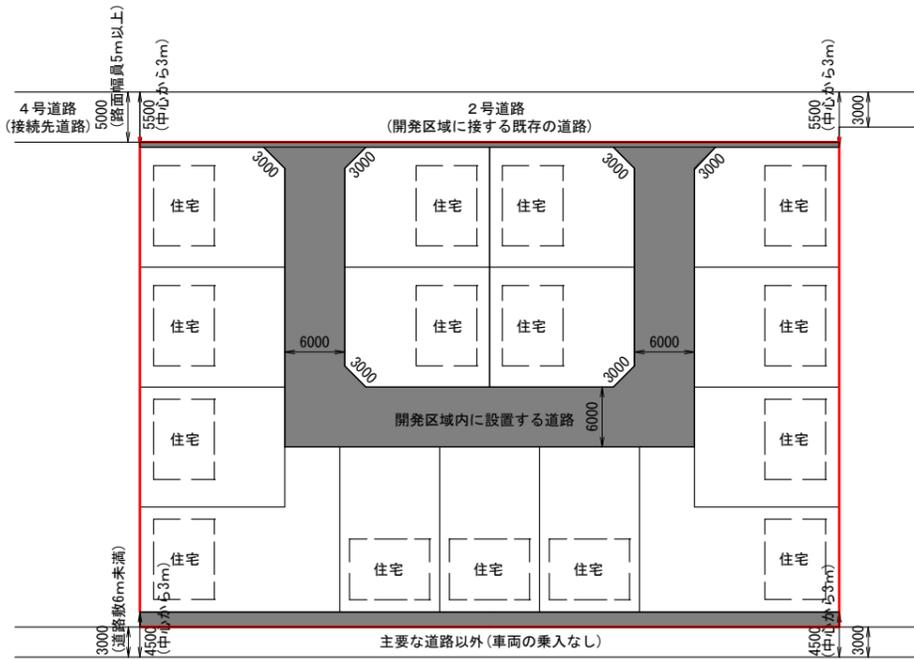
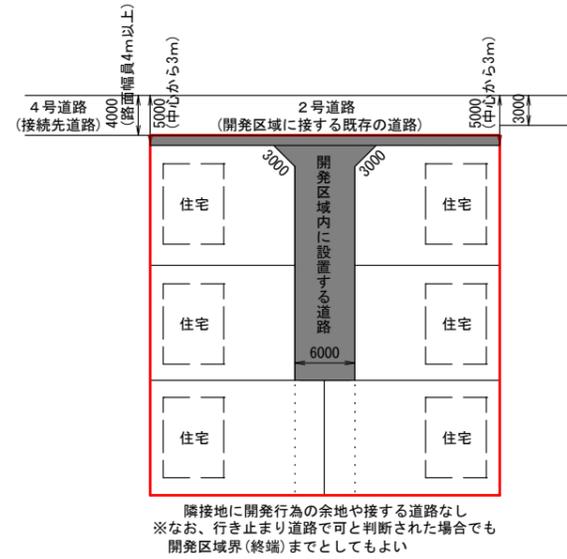


開発面積：3000㎡以上6000㎡未満
用途：住宅(宅地分譲)



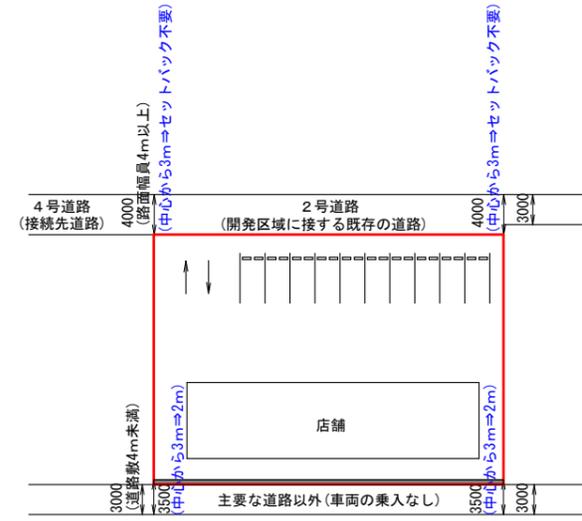
開発面積：1000㎡以上3000㎡未満
用途：住宅(宅地分譲)
道路形態：行き止まり道路※

※隣接地に開発行為の余地や接する道路がない場合は道路管理者と協議のうえで行き止まり道路で可となる場合あり



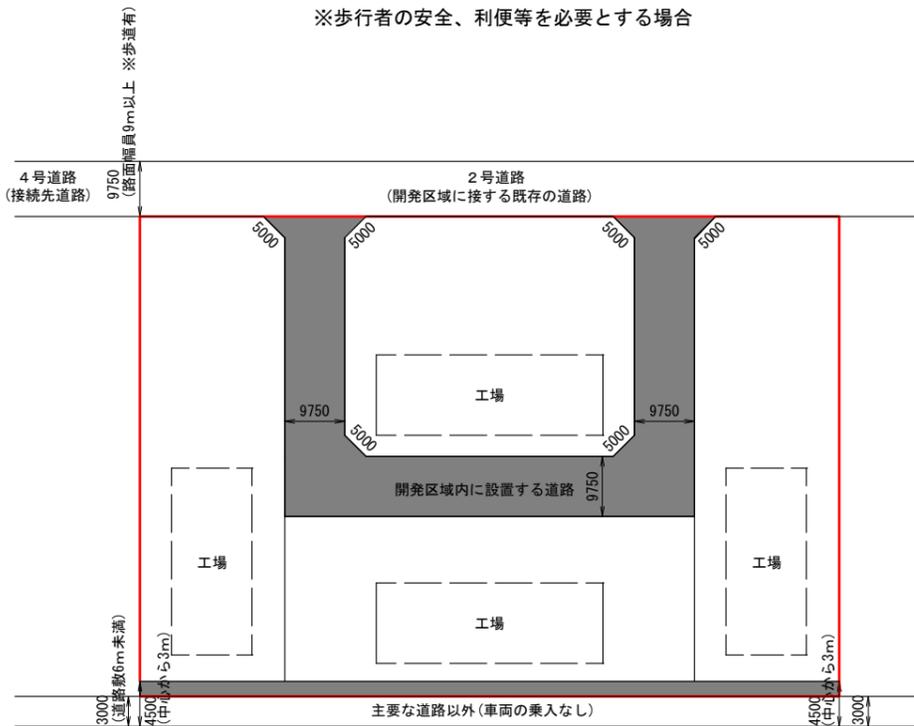
隣接地に開発行為の余地や接する道路なし
※なお、行き止まり道路で可と判断された場合でも開発区域界(終端)までとしてもよい

開発面積：1000㎡未満(市街化調整区域)
用途：その他(店舗)

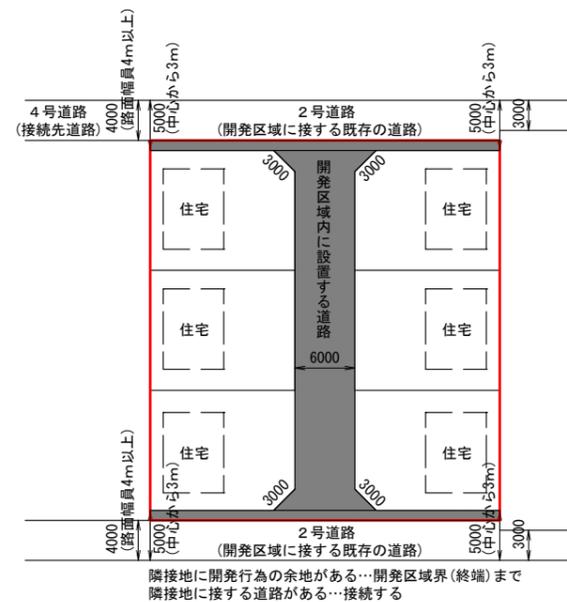


開発面積：3000㎡以上
用途：その他(工場分譲)

※歩行者の安全、利便等を必要とする場合

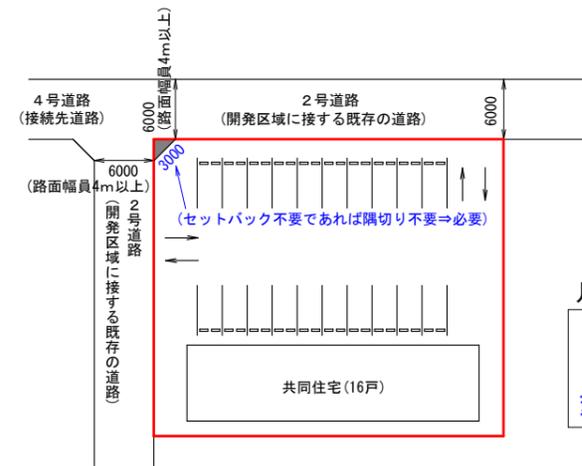


開発面積：1000㎡以上3000㎡未満
用途：住宅(宅地分譲)



隣接地に開発行為の余地がある…開発区域界(終端)まで隣接地に接する道路がある…接続する

開発面積：1000㎡以上3000㎡未満
用途：住宅(共同住宅)



令和6年4月~

開発に係る道路幅員の事例別イメージ

注) 参考となる一例を示したものであり、道路管理者と協議のうえで決定する。

※地区計画道路に該当する・隣接地が拡幅済である・歩行者や大型車交通の発生が見込まれる等、周辺の道路状況や土地利用により、道路管理者と協議のうえで緩和されない場合がある。

※車両の乗入なし…建物等が支障で物理的に乗入不可、または土留め等の構造物により申請地との段差を設ける場合(地先境界ブロックやフェンスのみなど簡易に乗入構造に変更ができる場合は除く)

参考) 開発許可事務の手引き(各務原市宅地開発指導要領) ※市HP

- P44、45：開発区域に接する既存道路(2号道路)及び接続先道路(4号道路)の幅員及びセットバック
- P46、47：開発区域内に設置する道路の幅員
- P49：開発道路の隅切り、道路形態